

Der Mond Das Meer

— 沙羅 (月と海の子守歌)

ながゆみせお せい
長弓背負いし 月の精 (月拥杯中 仙女水鷺)
[他] 背, 担負

夢の中より 待方をりぬ 夢中徐来 长夜悠悠
= ある, いる; ~している, 「をりぬ」= あった, いた
「ぬ」: 助動詞 - 完了 (-してしまった).

こよい いひ つくよみばやし はやし
今宵やなぐる 月夜見囃子 今宵共君 夜賞雜子
胡籥 (弓矢携帯具) = つきよ. 月夜見: 月の異名; 月の神

こ はやし
早く来んかと 待ちをりぬ 盼君速归 长夜悠悠
= 来ない (来ぬ) ~かと ~ ~ と思います

ねむ まる
眠りたもう ぬくと丸みて 睡意袭来 眼圍夢儘
= たまふの音便, 古い日本語. ぬく [温]
[給う] 給, 賜予 丸み: まるい感じ

だ
眠りたもう 母に抱かれて 睡意袭来 意归襁褓
[抱く]

まかい かか

真權掲げし 水の精

手扶卓掲 仙女水狙

柴の美称

[他] 挂, 举; 刊登

夢の中より 待方をりぬ

夢中徐来 长夜悠悠

おに

今宵とりふね うずまき鬼

今宵共君 戏于西楼

鳥船

= 渦巻き 渦巻き鬼: 一种儿时游戏

早く来んかと 待方をりぬ

盼君速归 长夜悠悠

眠りたもう ゆるゆる揺られ

睡意袭来 游漪池留

[揺る] 他1.

眠りたもう 海に抱かれて

睡意袭来 意归海角